

特別史跡 加曽利貝塚

令和元年度 発掘調査現地説明会

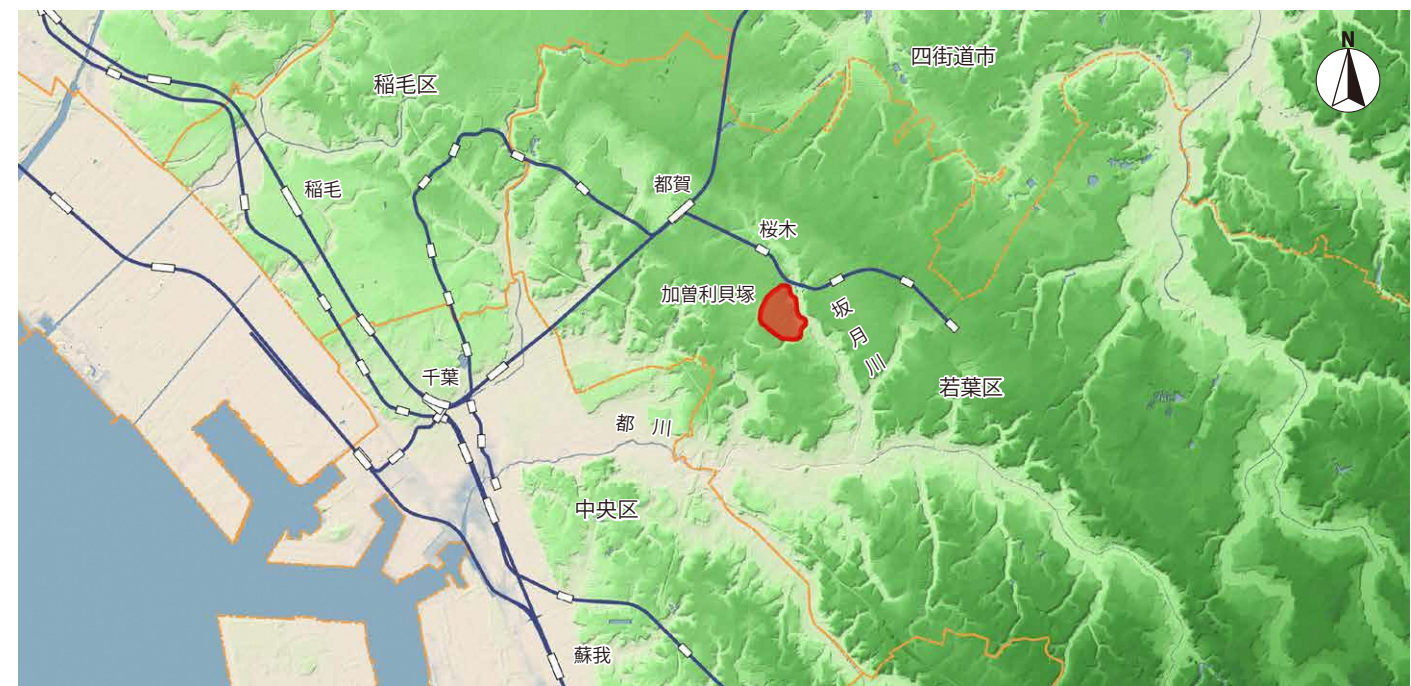


図1 加曽利貝塚位置図（国土地理院 基盤地図情報より作成）

今年度の調査の目的

- 平成30年度に確認した縄文時代晩期の大型の竪穴住居跡を調査する。
- 同時期の住居跡の存在も調べ、加曽利貝塚のムラの終末期の様子的一端を明らかにする。
- 今後の調査や史跡整備のための情報を得る。

所在地：千葉市若葉区桜木2丁目81番1他
調査期間：令和元年6月25日～12月7日
調査機関：千葉市埋蔵文化財調査センター
調査面積：700㎡（25m×28m）



写真1 竪穴住居跡の調査（平成30年度）

基本層序

表土：草の根を多く含む。
黒色土：縄文時代晩期の遺物を多く含む。
暗褐色土：縄文時代中期・後期の遺物を多く含む。
ローム層：今から1万年以上前の地層
＊縄文時代晩期の竪穴住居跡には黄褐色土が多量に含まれている特徴がある。

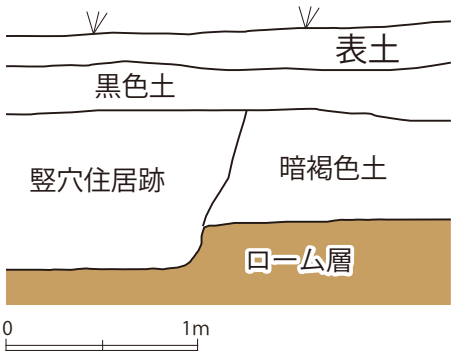


図2 基本層序模式図

特別史跡 加曽利貝塚

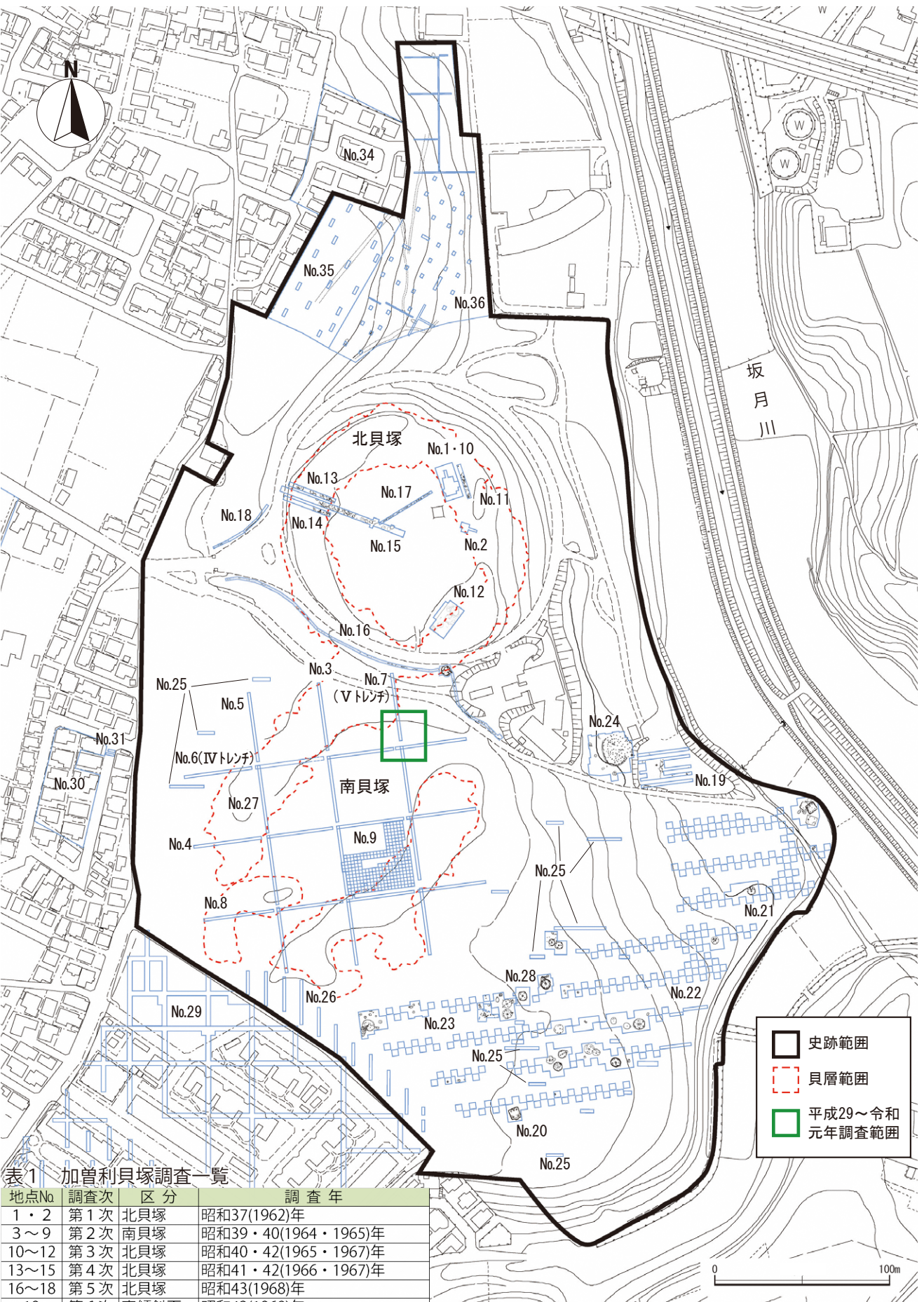


図4 調査地点位置図

地点No	調査次	区分	調査年
1・2	第1次	北貝塚	昭和37(1962)年
3～9	第2次	南貝塚	昭和39・40(1964・1965)年
10～12	第3次	北貝塚	昭和40・42(1965・1967)年
13～15	第4次	北貝塚	昭和41・42(1966・1967)年
16～18	第5次	北貝塚	昭和43(1968)年
19	第6次	東傾斜面	昭和43(1968)年
20～23	第7次	東傾斜面	昭和45～48(1970～1973)年
24	第8次	東傾斜面	昭和48・49(1973・1974)年
25	第9次	南貝塚 東傾斜面	昭和61～63(1986～1988)年
26～28	第10次	南外縁部 南貝塚 東傾斜面	平成元・2(1989・1990)年
29	第11次	南外縁部	昭和59(1984)年
30～33	第12次	西外縁部	昭和52・53・55・平成元 (1977・1978・1980・1989)年
34～36	第13次	北外縁部	昭和58・平成25・26 (1983・2013・2014)年

＊地点No32・33は調査地点位置図範囲外

発行者 千葉市教育委員会
生涯学習部 文化財課
発行日 令和元年11月30日

発見された遺構と遺物

遺構：竪穴住居跡〔縄文時代中期・晩期初め等〕、溝〔晩期〕
土坑〔中期・晩期等〕、柱穴〔晩期〕、貝層〔中期・後期・晩期〕
遺物：縄文土器〔中期・後期・晩期〕、土製品（耳飾り・土偶）
石器（石鏃・石斧・石錐・石剣・垂飾品）
人骨、獣骨、魚骨



写真 2：土偶（令和元年度出土）

遺構配置図



図 3 遺構配置図



写真 3：竪穴住居跡②—大型の竪穴住居跡



写真 4：溝（調査区東側）



写真 5：土坑（IVトレンチ 3区）

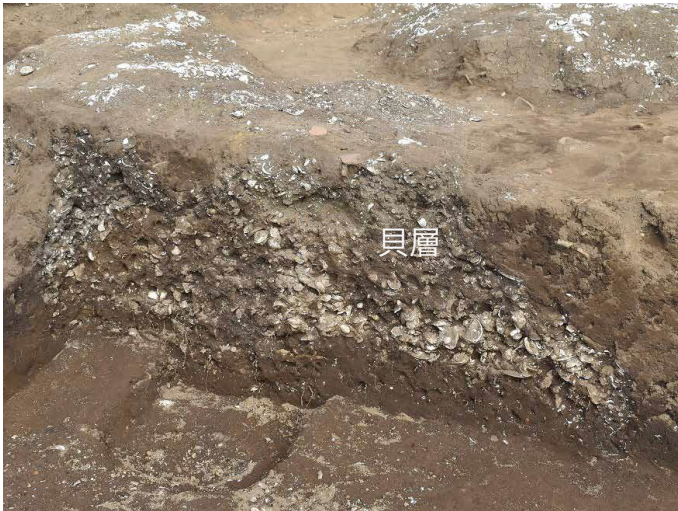


写真 6：貝層（Vトレンチ 4区）



写真 7：竪穴住居跡③(Vトレンチ 4区) 人骨